

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐんぐんみなと			
○保護者評価実施期間	2025年2月4日 ～ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年2月4日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での学習・集団での活動を取り入れた支援を行っている。	視覚支援を取り入れ、こどもたちが自分で流れを把握し、取り組めるようにしている。また、周囲の音や声が気になる児童に対しては個室を使用できるよう環境整備を行っている。 余暇活動の中で、支援者やお友だちと関わる機会を作り、その中で他者と関わる時のルールなどを学ぶ機会を設けている。	利用人数に合わせ学習スペースの使用方法を都度変えながら、支援を行っている。 児童発達支援の児童とも、集団活動の中で関わる機会を設け、広い年齢幅の児童同士の関わりの中で情緒面での成長を促している。
2	土曜祝日は、クッキングや創作活動・外出支援といった、児童が楽しめるイベント行事を行っている。	年間を通して、毎月違った活動を行い、こどもたちにとって来所が楽しみになるような工夫を行っている。 それぞれの児童の発達レベルや能力等に合わせ、同じ活動でも取り組む内容を調整している。	こどもたちが自分でやってみる機会を多く取り入れ、より「できた!」「楽しい!」を感じられるイベントを設定していく。普段の生活では、あまりできない体験を通して、成長へ繋げられるよう支援を行っている。
3	都度関係機関と連携を図り、支援内容についての情報共有を行っている。	月に1回以上、学校やいきいき活動、その他関係機関と連携を図りながら、情報共有を行っている。 こどもが生活する場で関わる支援者が認識や支援方法を統一して行えるよう努めている。	学校と事業所など、1対1の連携になるのではなく、ご家庭やその他の関係機関と包括的な連携を築けるよう働きかけを行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会がない。	日々、ご家族様からの相談などへの対応は行っているが、ご家族様に向けた研修やトレーニングの機会までは設定できていない。	今後取り入れていくことを検討し、家族支援の充実を図っていく。
2	父母の会や地域住民を招待するような機会を設定しておらず、保護者同士の関わりや地域との関わりが少ない。	プライバシー保護の観点から、機会設定が難しい。また、保護者同士の関わりに消極的なご家庭もある。	保護者様からの要望があれば、機会設定について検討していく必要がある。
3	第三者による外部評価を行っていない。	社内や保護者様・相談支援事業所などからの評価のみで業務改善を行っている。	今後第三者による外部評価を導入を検討していく。